

記者発表資料

平成23年4月5日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所

東日本大震災の支援のため 排水ポンプ車及び支援職員を派遣

3月11日に発生した東日本大震災で被災し、津波により冠水している箇所の排水活動を支援するため、大隅河川国道事務所が保有する排水ポンプ車 1台（1台当り排水能力：毎分30m³）が6日に宮城県へ向け出動します。

今回は、地震の被害が甚大で、派遣先でのポンプ運転要員の確保などが困難な状況にあることから、車両の運搬だけでなく、現地でのポンプ運転など一連の支援活動を担ってもらう予定で、大隅河川国道事務所が「災害時等応急対策業務に関する基本協定」を締結している企業1社に出動を要請しました。

また、別途被災地域の支援のため職員2名を岩手県釜石市他に派遣します。これにより大隅河川国道事務所からは延べ3名の職員が派遣されることとなります。

派遣先は、断水や停電など厳しい環境下ではありますが、支援活動により1日も早い復旧ができるよう奮闘を願っています。

下記は排水ポンプ車出動に関する内容です。

【出発式】

・平成23年4月6日 14:00 大隅河川国道事務所 玄関前

【活動拠点】

・宮城県仙台市青葉区 ^{あやし}愛子防災防雪ステーション（現時点）
活動期間は3週間程度を予定しています。

【協定締結業者】

・株式会社 吉留組

【別紙】に排水ポンプ車の概要を添付します。

【問い合わせ先】

国土交通省 大隅河川国道事務所 技術副所長 榎田 範 男
河川管理課長 小林 保

〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1
電話：0994-65-2541（代） FAX：0994-65-9524
<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi>

【別紙】

排水ポンプ車 (30m³/min級・水中ポンプ)

4台の水中ポンプの排水能力は30m³/分。内水被害の復旧活動に大きな威力を発揮します。

